

河内小学校通信

第38号

令和5年2月7日(水)

文責：校長 平塚 学

『豆まき集会』を行いました

2月2日(金)に、「豆まき集会」を行いました。

はじめに、校長から、節分についての話と「追い出したい鬼を追い出すためには、紙に書くだけでなく、しっかりと意識してできることから始める努力が必要なので、がんばってほしい。」という話を行いました。また、もともと節分は病や災害などの災いを鬼と考えて豆まきをしていたことから、「現在、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザにかかる人が郡山市内で増えているので、手洗いをしっかりやること、早寝早起きをして体調管理をしっかりすること、人ごみに出かけるときはマスクをすることの3つを守ってほしい」と話しました。



次に、児童を代表して6年生のNさんが、「今日は豆まき集会です。みんなが書いた鬼をやっつけましょう。でも、自分でも努力することが大事なので、鬼を追い出せるようにがんばりましょう」というあいさつを行いました。



その後、各学年代表から「わすれんぼう鬼」「家に帰って遊んじゃう鬼」「わすれもの鬼」「めんどくさい鬼」「ねぼう鬼」などそれぞれの「追い出したい鬼」の発表がありました。



各学年代表による『退治したい鬼』の発表の後、いよいよ豆まきとなりました。30人の追い出したい鬼を貼った大きな鬼めがけて、まずは1・2年生から豆まきをしました。大きな鬼めがけて紙製の豆を何度も拾って、思いっきり投げ、鬼を追い出そうとしていました。



次に3・4年生が豆まきをしましたが、中学年になると投げる豆の勢いも強くなり、子どもたちが書いた追い出したい鬼の紙が何枚かとれるほどでした。



最後に、5・6年生も豆まきをしました。さすが高学年とあって、かなり強い豆が飛んできて



おり、しっかり自分の鬼を追い出そうとしていました。

最後に全校生で「鬼は外一。」と言って豆を1つずつ投げ、「福は内一。」と言って豆を1つずつ投げて終わりました。

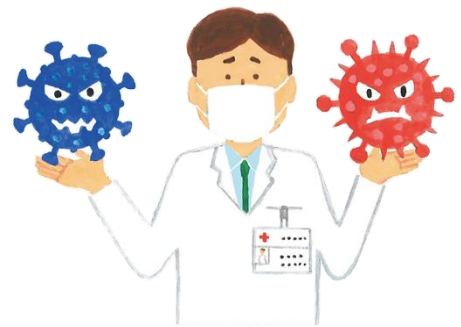
豆まき集会で使った豆は、3～6年生が協力して片付けを行いました。24人で協力して後片付けをしたので、あっという間に使った豆を片付けることができました。

ぜひ、ちょっとした努力をして、それぞれ鬼を追い出してもらいたいと思います。



新型コロナウイルス感染症とインフルエンザにご注意を

郡山市内の小中学校では、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザに罹る児童生徒が増加傾向にあり、学級閉鎖となっている学校が複数見られることから、市教委より感染予防対策の徹底の通知が届きました。学校では、教室の換気を行うとともに、金曜日の豆まき集会でも手洗いの徹底と規則正しい生活について話しました。ご家庭でも以下の点についてご協力をお願いします。



1. 毎朝の健康観察をしていただき、発熱等の風邪症状があるときには休養し、医療機関での受診をお願いします。
2. 規則正しい生活を送り体調を整えられようお子さんへの声掛けをお願いします。
3. 外出後、トイレの後、食事の前後などは流水と石けんで手洗いをするようお願いします。
4. 人ごみ等へ外出するときは、できるだけマスクを着用するようお願いします。

校内なわとび大会について

来週2月16日(金)3校時(10:30～11:15)に校内なわとび大会が予定されています。今年も体育の授業の一環として実施することにしていましたが、何人かの保護者の方から「参観できないか」との問い合わせがありましたので、回答いたします。

授業参観としての実施はしませんが、なわとび大会を参観していただいても構いません。ただし、普段の体育と同様に実施するため、体育館内にストーブ等の暖房器具は用意しません。そのため、防寒着及び寒くないように上ばきを準備して体育館へお入りください。参観の際は、職員室の職員に一声かけていただければと思います。よろしくお願いします。

